

周南市立 新南陽市民病院だより

vol.20
2016年1月

電話 : 0834-61-2500
FAX : 0834-61-2501
メールアドレス : renkei@city-hp.or.jp
ホームページ : <http://www.city-hp.or.jp>



12月25日 クリスマスコンサート

新南陽市民病院の基本理念

市民に奉仕する医療

1. 市民のための「地域病院」であること
2. 医療及び健康を求める全ての人々に、親しまれる「開かれた病院」であること
3. 健康・福祉との連携にも積極的に寄与し、「市民コミュニティー」を形成すること
4. 病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

目次

CONTENTS

新年のご挨拶	2
特 集	3
看護部・老健だより	4
薬剤部・中央部だより	5
地域連携室だより	6
糖尿病レシピ・医事統計	7
外来診察一覧表	8

新南陽市民病院の特徴

当院の管理運営は「公設民営方式」で指定管理者制度に基づき公益財団法人医療公社に委託され、自治体の「信用力」と民間の「柔軟性・機動性・経済性」を活かしながら、管理運営を行っています。

また、施設医療環境面においては、外来診療機能部門の集中、病室の快適な居住性や診断精度の高いMRI、マルチスライスCT、血管造影装置など最新の機種を備えています。



新年のごあいさつ

周南市医療公社

理事長 青木 龍一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

市民病院は、平成12年4月の開設以来、周南西部地域の中核的医療施設として、併設する介護老人保健施設等と連携し、市民、患者の皆様に安心と信頼を感じていただけるよう、医療、保健、福祉の一体的なサービスの提供に努めてまいりました。昨年は、整形外科及び泌尿器科の常勤医不在など、市民病院を取り巻く環境は、かつてない厳しさを増す中、眼科と腎臓内科の常勤医確保も得て、「市民の皆様に奉仕する医療」を提供するという強い信念のもと、松谷院長のもと職員一丸となって病院運営に取り組んでまいりました。依然として大変厳しい状況にありますが、職員すべてがこの危機感を共有し、連携し、一人ひとりの持ち場でそれぞれの能力を最大限発揮することが求められます。

今年は「申年」です。「申」という字は、「伸ばす」という意味があるとのことです。現在のピンチを大きなチャンスに変え、今年が、医療公社にとって伸展の年になりますよう、力を合わせて「ともに」頑張りますので、皆様がたのご理解とご協力をお願いいたします。

念頭に当たり、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新南陽市民病院

院長 松谷 朗

新年おめでとうございます。昨年は整形外科医師と泌尿器科医師の非常勤化により市民の皆様に大変ご不便をおかけしましたが、山口大学関連医局と市民病院職員の協力で何とか診療を継続できました。近い将来には再び常勤医体制がとれるようにと努力を続けて参ります。他方で眼科常勤医として新川邦圭先生、腎臓内科医として岡本匡史先生に赴任していただけたことはまことに頼もしい限りです。また昨年より当院におきましても包括ケア病床30床を設け、急性期医療から在宅医療への橋渡しとなれるよう努めています。今年は診療報酬改定の年であり、少子高齢化社会の流れから医療機関には厳しい改定が予測され、病床数削減を含めた地域医療体制の見直しなどもあわせて、大きな変革の年になることは必至であろうと考えております。人口減とは言え、高齢化社会を迎えた我が国において当面は患者増が予測されます。従って地域の病院の規模・機能の維持は重要な社会資源の維持であり、一旦失われると元に戻すことは不可能であることを考えると、病院長として身の引き締まる思いです。

今年は年男ですが、当院に赴任してすぐに年男を迎えたことを大変懐かしく思うとともに時の流れがなんと早いことかと驚きもします。年男として今年一年が周南市民の皆様、市民病院、周南市医療公社にとって最良の年となるよう全力で頑張ろうと思います。

市民病院は市民あっての病院です。本年も市民の皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

特集

「黄斑浮腫の治療について」

眼科部長 新川 邦圭



糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症などで、眼底にある黄斑という視力に関係する部分に血管から漏れ出た水がたまり、浮腫を起こすことがあります。黄斑が浮腫を起こした状態が続くとだんだんと視力が低下し戻らなくなりますので、視力を改善するには早めに浮腫を引かせる必要があります。以前は、こういった浮腫に対してあまり有効な治療がなく、視力改善が大変難しかったのですが、数年前から抗VEGF剤という薬を目の中に注射することによって、かなりの治療効果が期待できるようになりました。この治療をするには、浮腫の程度を正確に知るための器械が必要ですが、昨年4月に最新型の光干渉断層計（OCT）という黄斑浮腫を詳しく検査できる機器を眼科外来に導入いたしましたので、当院でも黄斑浮腫に対する治療を開始することができました。

多くの患者さんの治療を始めていますが、注射をすることにより、かなりの患者さんで治療効果が出て、浮腫と視力の改善を認めています。もちろん注射すれば100%元通りによくなるという訳ではありませんので、原因となった糖尿病や高血圧などはしっかり管理していく必要があります。今後も内科と協力して患者さんの目の健康を守っていきたいと思います。

クリスマスコンサート



12月25日（金）クリスマス、素敵なサンタクロース達が新南陽市民病院に、冬の寒さを吹き飛ばすような暖かな音色のクリスマスプレゼントを届けてくれました。

今年クリスマスプレゼントを届けてくれたサンタクロースは【新南陽高等学校吹奏楽部】の皆さんです。

イケメントナカイも加わり、若さあふれる力強い演奏に観客の心は魅了され、素敵なクリスマスになりました。



看護部だより

看護部長 福田 豊美

ブルーサークルイベント

当院では毎年、世界糖尿病デーに合わせてブルーサークルイベントを開催し、糖尿病抑制キャンペーンを行っています。今年も、11月2日（月）から「糖尿病週間行事」と11月7日（土）に「ブルーサークルイベント」を行いました。

今年で11回目の開催で、63名の参加がありブルーサークルイベントが、院内外に定着してきたことを感じます。

イベントでは、パネル展示・糖尿病検査・健康相談・講演会・試食会を行いました。参加者には、検査や健康相談で健康チェックを行うと共に、歯科衛生士によるブラシを使っての歯周病予防ケアや、看護師のフットケア、理学療法士の運動療法など、実際に行うことでセルフケアの大切さを感じていただきました。

講演会は、当院の松谷院長が「もっと知りたい糖尿病の薬」と題して講演をおこない、参加者から多くの質問があり関心の高さが伺われました。その後の試食会では、初めて鍋料理を取り入れた献立で、温かくてボリューム満点の試食会となり、盛況のうちにイベントを終了することができました。

市民病院では、これからも市民の皆様の健康に役立つ情報を発信していきたいと考えています。



老健だより

支援相談員 安達 佳郎

夜カフェ

10月9日（金）19：00から、初めての試みである「夜カフェ」を開催しました。「夜カフェ」とは、原則第2金曜日の夜、保健・福祉・介護関係者が集い、情報交換、親睦交流、自己研鑽等を行う事を目的に開催されるものです。当日は、ゆめ風車の職員を含め施設内外から17名の参加がありました。自己紹介と共に、この会に期待する事、求める事の発言を求めた所、他事業所の作業療法士から今後のリハビリについての悩みや想いが噴出し、議論に発展しました。参加者は介護支援専門員、介護福祉士、作業療法士、栄養士、ソーシャルワーカーと多岐に渡り、様々な意見が出る一方で、職種の違いから、あまり発言の無い方もおられ、課題も見えた初回の試みとなりました。

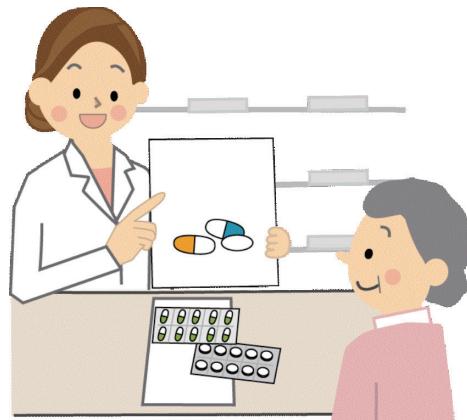
11月に行われた2回目の「夜カフェ」は7名の参加にとどまりましたが、発達障害を持つ本人及び家族が置かれている現状報告があり、高齢者以外の世界を垣間見る事ができました。少人数がかえって幸いし、現場の生の声を聞くことができ、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

今後は、回を重ねるごとに参加者、内容の充実を図っていきたいと考えています。

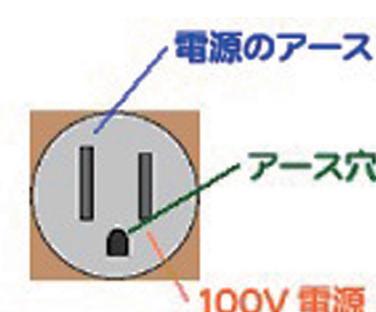


健康食品とお薬の飲み合わせ（それ大丈夫でしょうか？）

平成27年4月より「機能性表示食品」に関する新制度が始まりました。これまで健康食品（生鮮食品やサプリメントなど）として一括りにされていたモノを対象としています。既に発売されている特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品が国の許可を受けているのとは異なり、発売する企業の責任において食品の安全性と機能性について、「～の機能があります」と言ったように表示されます。主な成分には、「ルテイン、EPA/DHA、コエンザイムQ10、ラクトフェリンなど」がありますが、含量などはよく判りません。気になるのはこれらの食品（成分）と、服用中のお薬との飲み合わせ（相互作用）です。食品と言っても絶対に安心とは限りません。これまでも納豆とワーファリンのように重大な注意が必要なものもあります。しかしながら残念なことに、制度も始まったばかりで、どのような商品があるのかよく判りません。また、製造者も「医薬品を服用している場合は医師、薬剤師にご相談下さい」と言ったような曖昧な対応です。従って、現段階ではご相談いただいても完璧にお答えできるかどうか判らないこともありますが、ご心配な時は遠慮無く薬剤師にご相談下さい。精一杯調べてお答え出来るよう努力いたします。



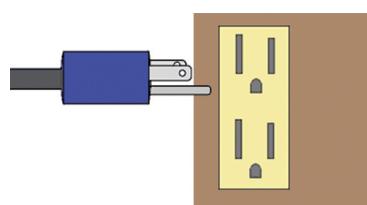
医療機器を使用する際のアースの必要性



アースはとても大切です。次にあげるふたつの理由から、生体情報モニターをはじめとする医療機器を使用する際には、必ずアースをとらなくてはなりません。

- ①交流雑音（ノイズ）が入るのを防ぐため
- ②感電事故を防ぐため

病室・手術室・検査室など、病院のどんな場所でも電気が使われています。したがってモニターのアースをとっていないと、測定した心電図波形などに電灯線の交流が雑音（これを「ハム」といいます）としてのってくることがあります。



それ以上に大切なアースの役割は、万一の感電事故を防いで電気的安全を保つことです。生体情報モニターなどの医療機器の電源コードのプラグはすべて3Pになっています。これをいわゆる3P電源コンセントに接続すれば自動的にアースがとられ、電気的安全がはかられます。壁面の電源コンセントが2Pコンセントの場合は、従来は3P→2P変換アダプタを用い、別途アース線（緑色と黄色の縞模様のもの）をつなぐ方法をっていましたが、現在この方法は規則上認められていません。

地域連携室だより

地域連携室(直通)
TEL 0834-61-3250 / FAX 0834-61-3211

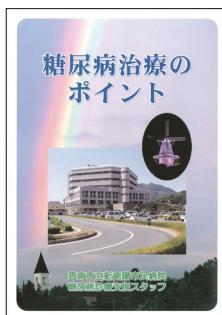
医療機関の皆さまへ 患者さまご紹介についてのお知らせ

下記の患者さまの治療を積極的に行っておりまのでご紹介の程、宜しくお願いします。

専 門	医 師	対象患者さま
肝臓疾患	沖田 幸祐	B型慢性肝炎及びC型慢性肝炎検査の陽性者の方
		肝硬変の方
慢性腎不全	岡本 匡史	検尿検査で蛋白尿陽性者及び血尿の方
		クレアニチン2.0以上の方
		透析導入が必要とされる方

- ・受診時は紹介状の持参をお願いいたします。
- ・緊急時の紹介は、事前に該当医師へのご連絡をお願いいたします。
- ・包括ケア病床を設けていますので、在宅からの入院もお受けできます。

糖尿病について



当院編集の「糖尿病について」の冊子です。
簡単にわかりやすい内容ですので、ぜひご参考にしていただけたらと思います。
お問い合わせは内科外来でお受けします。

税込500円

第6回市民公開健康講座について

日 時：平成28年2月21日（日）10時～（開場時間：9時45分）

場 所：新南陽市民病院 2階会議室

演 題：「高血圧について・ちょっとしたお話」

講 師：新南陽市民病院 循環器内科部長

河野 正輝

※予約不要・参加費無料

※講演会終了後、減塩みそ汁の試飲会を行います



循環器内科部長
河野 正輝

問い合わせ先：新南陽市民病院 地域連携室

☎0834-61-3250

糖尿病食のレシピ

(HOTな洋風日和え風)

材料(2人分)

- ・じゃがいも小1/350g
- ・ニンジン4cm幅50g
- ・ブロッコリー1/3株50g
- ・スナップえんどう 9本50g
- ・絹ごし豆腐1/3丁120g
- ・固体コンソメ 1/2個
- ・片栗粉 小さじ1/2
- ・オリーブオイル 小さじ2
(または亜麻仁油・えごま油)
- ・粗びき黒こしょう 少々
- ※飾り用
ミニトマト 3個
洋風パセリ 少々



~1人分 117kcal、塩分0.7g~

作り方

- ① じゃがいも、ニンジン、ブロッコリーを一口サイズに切り、硬めに茹でる。スナップえんどうもそのままで硬めに茹でた後、両端を切り落とす。
- ② 絹ごし豆腐はスプーン等でつぶし、コンソメは小さめに碎いておく。鍋（またはフライパン）に絹ごし豆腐とコンソメを入れて中火にかけてコンソメを溶かす。
- ③ ②に①を加えて水気をとばしながら煮ていけ（食材にやや塩気が入り食べやすくなる）、水気が少なくなったら片栗粉でとろみをつける。
- ④ 器に盛り、オリーブオイルを回しかけ黒こしょうをふる。横半分に切ったミニトマトと洋風パセリを飾って出来上がり。

★プチトピックス★

最近、えごま油や亜麻仁油（あまにゅ）が話題になっています。これらはオメガ3系のα-リノレン酸が豊富に含まれており、コレステロール・血圧低下への期待、血流改善・血糖予防、ダイエット、老化防止、免疫力を高めたりなどの効果が期待されているためです。亜麻仁油においては、不溶性・水溶性食物繊維のバランスがよく、リグナンも豊富に含まれていることから便秘解消につながるようです。

注意点として、熱に弱いため加熱せずに摂取するとよいのですが、効果を期待するあまり「摂りすぎ=脂質過剰摂取」につながらないよう計画的にお使いください。

医事統計

◆月別平均在院日数

(単位:日)

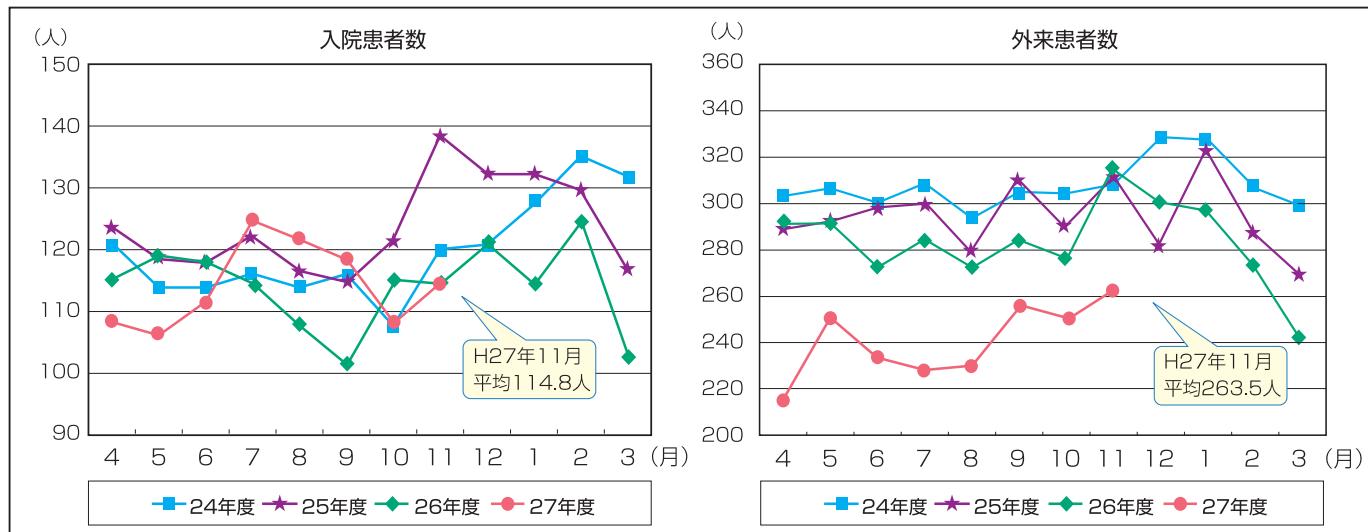
	26年度	27年度	対前年度(H27-H26)
4月	17.55	19.18	1.63
5月	19.87	19.97	0.10
6月	18.07	16.71	▲1.36
7月	18.35	19.88	1.53
8月	19.16	20.51	1.35
9月	18.13	19.48	1.35
10月	18.00	19.42	1.42
11月	22.39	19.57	▲2.82
平均	18.94	19.34	0.4

◆月別病床利用率

(単位: %)

	26年度	27年度	対前年度(H27-H26)
4月	76.5	72.6	▲3.9
5月	79.2	71.1	▲8.1
6月	78.1	74.5	▲3.6
7月	76.3	83.2	6.9
8月	72.2	81.2	9.0
9月	67.2	78.7	11.5
10月	76.9	72.6	▲4.3
11月	76.4	76.5	0.1
平均	75.4	76.3	0.9

◆月別平均患者数推移グラフ



外来診察一覧表

受付 8:00~11:30 診察 9:00~

平成28年1月1日~

科別		月	火	水	木	金
内 科	午前	1診	松谷 朗	中森 芳宜	松谷 朗	松谷 朗
		2診	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝	中森 芳宜
		3診	赤澤 哲子	沖田 幸祐	赤澤 哲子	沖田 幸祐
		4診	田上 耕蔵	村上和華子	吉賀 康裕	村上和華子
		5診	—	岡本 匡史	岡本 匡史 (予約再診のみ)	—
		6診	—	—	—	沖田 幸祐
検査	消化器	沖田 幸祐	赤澤 哲子	沖田 幸祐	横田 恭之	赤澤 哲子
	循環器	村上和華子	河野 正輝	村上和華子	河野 正輝	—
	午後		頸動脈・ 甲状腺エコー			頸動脈・ 甲状腺エコー

泌尿器科受付 8:00~11:30 診察 9:00~

泌尿器科	午前	月	火	水	木	金
		磯山 直仁	—	—	永田 雄大	—

脳外科受付 8:00~11:30 診察 9:00~

脳 外 科	午前	月	火	水	木	金
		藤井 康弘	藤井 康弘	藤井 康弘	岡 史朗	藤井 康弘

整形受付 8:00~10:30 診察 9:00~

整形外科	午前	月	火	水	木	金
	午前	小田 裕胤	休診	明石 浩介	黒川 陽子	西田 周泰
		前田 崇				

外科受付 (月・火・水・金) 8:00~11:30 (木) 8:00~9:30 診察 (月~金) 1診 9:00~ (金) 2診 10:00~

外 科		月	火	水	木	金
午前	1診	鈴木 道成	橋本毅一郎	鈴木 道成	橋本毅一郎	鈴木 道成
	2診	—	—	—	—	橋本毅一郎

眼科受付 (月・金) 8:00~11:30 (木) 13:30~15:00

診察 (月~金) 9:00~ (木) 14:00~16:15

眼 科		月	火	水	木	金
午前	新川 佳代	新川 邦圭				
	午後	—	—	—	村田 晃彦	—

※変更箇所

木曜日外来受付時間…8:00~10:30 → 8:00~9:30

脳神経外科…木曜日非常勤医師 奥 → 岡

◎土・日・祝祭日はお休みです。

お問合せ **周南市立新南陽市民病院**

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-3-15

TEL 0834-61-2500 / FAX 0834-61-2501

